

記 録

旧制広島高等学校創立八〇年記念資料展 「広高二六年の歴史」

小宮山 道 夫

一、企画の経緯

旧制広島高等学校（以下、広高）は、戦後の高等教育改革政策に基づいて、一九四九（昭和二四）年に新制国立広島大学に包括された。

これにより、広高の学校施設と教員の多くは広島大学教養部（当時の正式呼称は広島大学皆実分校）等の形成に寄与することとなった。

広高は姫路高等学校とならび、最も新しい官立高等学校として一九二三（大正一二）年一二月に広島市皆実町（現広島市南区翠町）に設置された。このため二〇〇三（平成一五）年は創設から八〇年の節目の年にあたっていた。

広島大学文書館設立準備室（以下、準備室）では、この節目の年に広島高等学校同窓会（以下、広高同窓会）との共同企画を何らかのかたちで実現したいと考え、二〇〇三年の四月中旬に広高同窓会に対して記念行事への協力を申し入れた。

この当時、広高同窓会では記念行事の概要について、記念式典、音楽会、祝賀会からなる記念祭と、記念植樹、資料展の二つの記念行事

を開催することを決定しており、三月二〇日発行の同窓会誌にてその概要を発表したばかりであった^①。資料展については松浦道一氏（広島大学名誉教授）を委員長とする実行委員会が発足しており、その実務には広高同窓会理事の福田寛氏があたっていた。

福田氏からは間もなく当準備室の協力を歓迎する旨の返信があり、続いて松浦道一氏と同窓会会長平岡敬氏（前広島市長）の了承を得た旨の回答を受けた。これにより広島大学としては初めて広高同窓会との共催で同校の記念行事に取り組むこととなり、資料展「広高二六年の歴史」（以下、資料展）が実現することとなった。本稿では、この資料展の概要を報告する。

二、広高資料の状況調査

1 学内所蔵資料

準備室は二〇〇三年四月の時点で、文書館設立に向けた学内行政文書の調査計画を立案していた。事務局を調査対象とすることはすでに

決定しており、他に一、二の部局を調査する予定であった。資料展の共催が具体化しはじめたため、予定部局を総合科学部と定め、その調査を優先することとした。これは広高の保有していた行政文書が、前述のとおり広島大学への包括により、広島大学教養部に引き継がれ、現在は教養部の後身組織にあたる総合科学部に所蔵されているためである。

準備室では今回の調査以前、五十年史編集室当時の二〇〇一年に学内各部署の行政文書の所蔵状況について概括的な調査を実施していた。これは同年四月一日に施行された行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成一年五月一四日法律第四二号、いわゆる情報公開法）への対応策として、本学の歴史にとつて重要な資料が、保存期間の満了を期に廃棄されることを防ぐため実施した調査であった。このため総合科学部については、所蔵場所ごと（書庫や棚ごと）の概要はある程度把握していた。今回の総合科学部調査は五月中旬に実施し、広高関係資料については特に簿冊目録を作成するばかりでなく、資料展での展示を想定しながら簿冊ごとの内容把握に努めた。

なお総合科学部に所蔵されている広高関係資料については、旧制高等学校資料保存会の高橋佐門氏が一九七〇年代に広島大学を訪れて調査を行っている。その調査結果は『旧制高等学校校史研究』において、目録や「資料調査旅行報告記」というかたちでそれぞれ公表されている⁽²⁾。この調査結果と今回準備室が行った調査とを比較すると、若干の異同があるものの、ほぼ当時の資料は総合科学部によって保管されてきたといえる。総合科学部所蔵資料の特徴は、教官の人事記録と学籍

簿や生徒成績表等の生徒記録といった必要最小限の重要資料が比較的管理の行き届いた状態で保管されていることである。ただしこれ以外の行政文書はほとんど所蔵されておらず、広高の沿革を跡づける資料に乏しい点が残念である。

2 学外所蔵資料

広高関係資料について学外に目を転じれば、広島市立中央図書館に「旧制広島高等学校資料」が所蔵されている。この資料は、広高同窓会が創立五〇年記念大会以来収集してきたもので、一六〇〇点を超える資料で形成されている。資料の中心は会員が同窓会に寄贈した写真アルバム、クラブ関係の物品・雑誌等であり、質量ともに豊富である。また広高の行政文書も含まれている点が興味深い。これは広高教官であった鈴木正利氏の旧蔵資料で、鈴木氏の手許に残されていた文書である。数少ない広高の行政文書として貴重な存在といえる。

広島県外では、前述の保存会が『旧制高等学校全書』等の編纂のために収集した資料が、財団法人大倉精神文化研究所に寄贈されている。同研究所発行の『旧制高等学校文庫目録』によれば⁽³⁾、広高関係の資料も残されていることが分かる。ただし、調査期間等の都合により、今回の資料展のための調査対象にはできなかった。

三、展示内容の決定

総合科学部の資料調査結果をもとに、準備室は続いて資料展に対し

て協力できる事項の検討に入った。その結果、①準備室や総合科学部など広島大学が所蔵する広高関係資料の提供、②準備室による展示内容への助言と陳列作業をはじめとする会場設営への協力、③広高同窓会会員に対する学籍簿や成績表等の複写提供サービスの実施という三つを大きな柱とする協力体制の提供を申し入れることとした。なお、①と③に関しては、総合科学部の協力が不可欠な企画であるため、総合科学部へも資料展への協力を要請し、全面的な支援を受けるに至った。このため、資料展の共催者に総合科学部が加わった。

六月九日には広高同窓会の資料展部会と準備室との初の打合せを実施した。この時には広高同窓会側の展示構想を聞き取るとともに、準備室からは前述の協力内容を伝達した。広高同窓会側は今回の展示について、大型の年表パネルを作成してその前面に関連資料を陳列する形式の展示をメインとし、これまで五年ごとに開催してきた資料展において好評であった恩師の写真パネル展示を加えたいとのことであった。この意向を受け、準備室では広高同窓会が作成した年表案のデータ化を実行するとともに、年表の記載事項の検証作業に取りかかった。

七月一日には資料展の会場となる広島市立中央図書館（以下、市立図書館）において、広高同窓会、市立図書館、準備室の三者で打合せを行った。会場を確認して展示規模の予測をたて、市立図書館の所蔵資料についても概括的な確認を実施した。その後八月六日の打合せの時点では年表についての調整は完了した。

一方、展示品の構成はなかなか具体化しなかった。しかし八月中旬

に広高同窓会から展示の目玉にあたる特別展示に、広高出身の文化功労者三名に関する展示を据えろとの話が出てからは、展示の骨格は次第に鮮明になっていった。

市立図書館には壁面の大型陳列窓二台と移動型の展示ケース八台があるため、準備室では資料展に対する広高同窓会の初期構想を念頭に、広高出身の文化功労者三名の展示コーナーと、パネル年表に対応するテーマを設定した展示コーナーをメインとする次のような展示原案を作成した。

- (1) 特別展示「広高出身の文化功労者たち」
 - A. 丹下健三（展示ケース①）
 - B. 近藤芳美（展示ケース②）
 - C. 阿川弘之（展示ケース③）
- (2) パネル年表関連資料「旧制広島高等学校のあゆみ」
 - A. 広高設置（陳列窓①）
 - B. 広高事件（同右）
 - C. 運動部の活躍（陳列窓②）
 - D. 戦時下の広高（同右）
- (3) 広高生の生活
 - A. 教科書（展示ケース④・恩師写真パネルの前面に配置）
 - B. 試験（同右）
 - C. クラブ活動（展示ケース⑤）
 - D. 寮生活（展示ケース⑥）
- (4) 広高教官著作物等



資料展会場風景（正面のパネルが恩師写真パネル）

A. 著書・追想録（展示ケース④）

B. 墨跡類（陳列窓②）

(5) 広高同窓会の軌跡（展示ケース⑦）

(6) 広高の遺産と広島大学（展示ケース⑧）

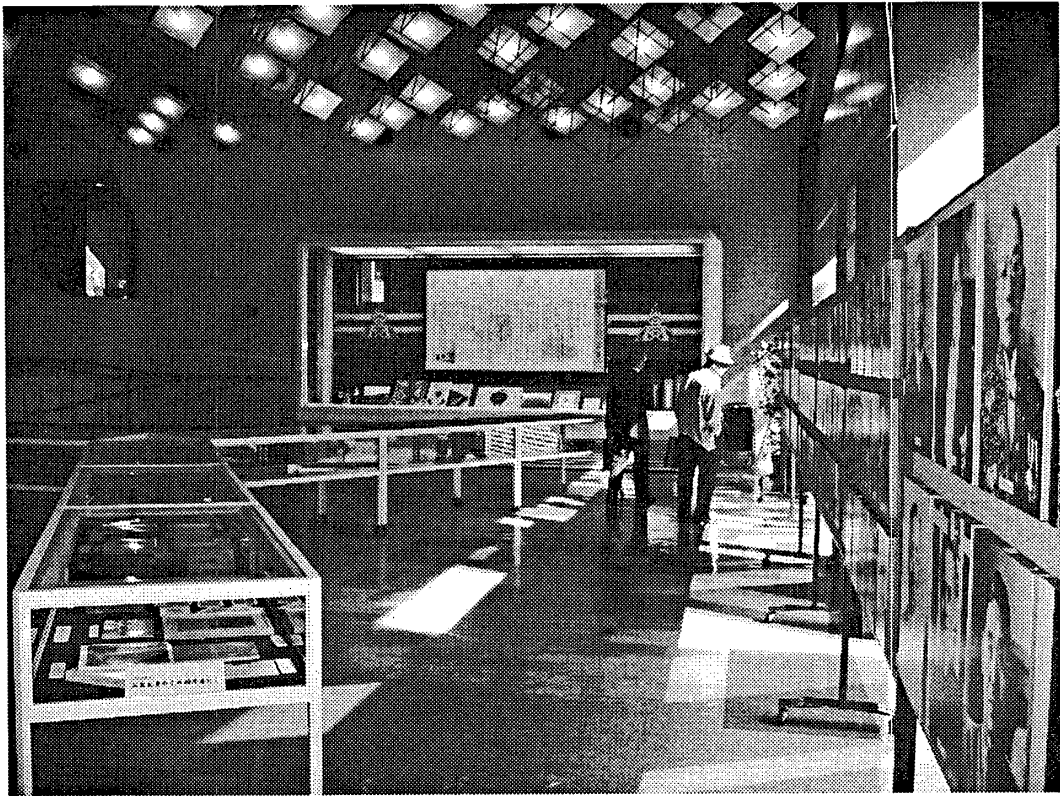
(7) 恩師写真パネル

この原案に対し、広高同窓会からは、広島大学側が共催となるので「広高出身の文化功労者たち」とともに「広高の遺産と広島大学」を特別展示に位置づけ、今回の資料展の中心に据えたら良いのではないかと有り難い提案を受けた。これにより「旧制広島高等学校創立八〇年記念「広高二六年の歴史」展目録」（資料一 以下、パンフレット）に示した展示内容が決定した。⁴

四、資料展配布物の作成

1 パンフレット（目録）

資料展で配布するパンフレットについては、可能な限りの労力を注いだ。それには二つの理由があった。創立六〇年記念大会以来五年おきに実施されてきた広高同窓会の資料展示は、創立六五年記念大会から広高同窓会と市立図書館との共催でなされてきた。今回は準備室と総合科学部とが共催に加わったことから、相応に充実したパンフレットを作成する必要性を感じていた。これが第一の理由である。そしてより重要な第二の理由は、このパンフレットを広高関係資料の保存・



資料展会場風景 (中央奥の陳列窓に年表パネルが見える)

利用活動の第一歩として位置づけたいということであった。

広高同窓会がその会報において、創立八〇年記念行事を「同窓会をあげての行事としては、恐らくこれが最後になるであろうと思われる」と公式に表明していた事実が示すとおり、⁵⁾同窓会会員の高齢化は深刻な段階にあるといえる。関係者にとっては酷な話であるが、後輩の続かない同窓会組織はいずれ消えゆく立場にあることは事実である。その危機感の強さは想像に難くない。戦後の学制改革のなかで広島大学が一応の後継組織として位置づけられたとはいえ、広高は直接的な後継組織を持たない教育機関である。それ故に、関係者とともにその資料までも失う危険性が押し迫ってきている感はぬぐい去ることはできなかった。

そこで今回の資料展では、それまでのパンフレットの形式を継承しつつ、可能な限りの情報をパンフレットに記載することとした。パンフレットには広高同窓会から指示のあった展示資料の一覧、広高創立記念大会行事一覧、年表(旧制広島高校のあゆみ)を盛り込むとともに、恩師写真パネルに関連する資料として、充実した教官一覧を記載することとした。

パンフレットは広高同窓会の当初計画では、例年どおり表紙込みで全八ページの予定であったが、記載内容を検討する過程で紙幅が足りないことは明白となり、準備室の提案で全一二ページに変更された。紙幅が増加したとはいえ、展示資料の一点ごとに説明を付すことは難しかった。このため簡略化するのはやむを得ないとしても、必ず展示資料の典拠情報を示すように資料の一覧を作成した。

教官一覧については、広高同窓会が創立七〇年記念で作成した『広高グラフィティ』に掲載されている「恩師の面影」を基礎資料とし、⁽⁶⁾これに『広島高等学校一覧』各年度に記載された教官の情報を加え、⁽⁷⁾広島大学が所蔵する人事記録で対照を行うという作業により作成した。目標は、広高教官として記録の残る人物全てについて記載することであった。「恩師の面影」には九〇名分の教官の肖像写真と担当教科、在任期間が掲載されており、創立七五年記念資料展で配布したパンフレットには六名分が記載されていた。⁽⁸⁾この合計九六名分の情報を前述の資料により検証し、内容を修正するとともに、新たに確定した教官を一覧に加えていった。この作業により最終的には一六三名の教官の名前を確定することができた。ただし『広島高等学校一覧』の書式が年度により変化すること、広島大学の所蔵する人事記録が戦前については一部の教官に限られており、戦後についても原則として広島大学に在職した人物の記録に限られるため、担当教科や在任期間が不確かな人物がある。また一六三名が全教官にあたるかどうか不明である。この点は残念であるが、調査期間等の理由でこれ以上の調査は断念せざるを得なかった。後年の課題としたい。

教官一覧には氏名の欄に*印を付して写真パネルの有無が分かるよう区別した。これは単に展示目録としての意味を持つばかりでなく、この一覧をもとに新たな写真の提供を受けるきっかけとなればとの思いで記載することとした。担当教科や在任期間についても同様に、現時点で分かる範囲の情報を積極的に記載し、この一覧を手にした人々からの批判を待つこととした。

年表の内容は『被爆五〇年の回想 広高とヒロシマ』等の年表をもとに広高同窓会が選定した。⁽⁹⁾これまで広高関係の出版物に掲載されてきた年表に比べ、広高閉校後の同窓会の活動を充実させたものとなっている。事項のフォントを使い分けることで、その事項が資料展会場に据えられた左右二面の大型年表パネルに記載されたかが分かるよう工夫している。

2 建物見取図

準備室ではパンフレットとは別に、会場で配布するための「旧制高等学校の建物」(資料二)と題した広高の建物見取図を作成した。この図は『広島高等学校一覧』から転用した構内図に、関係する九枚の写真を配置したものである。写真の撮影地点が分かるものについては、正確とはいえないまでも、おおよその撮影地点と方向とを矢印にて表現した。

配布用に会場に置いた見取図はモノクロのB四判であったが、展示品として設置した見取図はA三判のカラーコピーで作成した。このため、構内図については原図の彩色が、写真はそれぞれセピア色またはモノクロが反映され、原資料の雰囲気を伝えることができた。

この図については写真の典拠を記載することができなかったため、以下に典拠情報を記す。

○解体される広高教室

『Hiroshima Koto Gakko』(昭和七年九月卒文甲二卒業アルバム

ム・中谷英雄氏旧蔵) 準備室所蔵

○図書館生徒閲覧室

前掲『Hiroshima Koto Gakko』

○旧広高全景

準備室所蔵写真

○薫風寮入寮式新歓コンパ

『Photographs』(昭和二三年入学生の卒業アルバム) 準備室

所蔵

○講堂内部：広高の終焉

広高七〇年誌編集委員会編『広島高等学校創立七〇年記念 広

高グラフィティ』広島高等学校同窓会、一九九四年、六四頁。

○薫風寮前にて

『第壹回卒業記念 広島高等学校 昭和二年二月』準備室所蔵

○正門・講堂・本館

『ALBUM』(昭和三年卒業(第二回)文甲二写真アルバム・秦

正夫氏旧蔵) 準備室所蔵

○講堂屋上から薫風寮を望む

前掲『Hiroshima Koto Gakko』

○便所

準備室所蔵写真(広島大学附属中・高等学校百年史編集室奇贈)

○グラウンド

『復興記念写真』(昭和二三年卒業理甲四・沖田正氏作成写真

アルバム) 準備室所蔵

五、行政文書の展示と会員向けサービスの実施

1 行政文書の展示

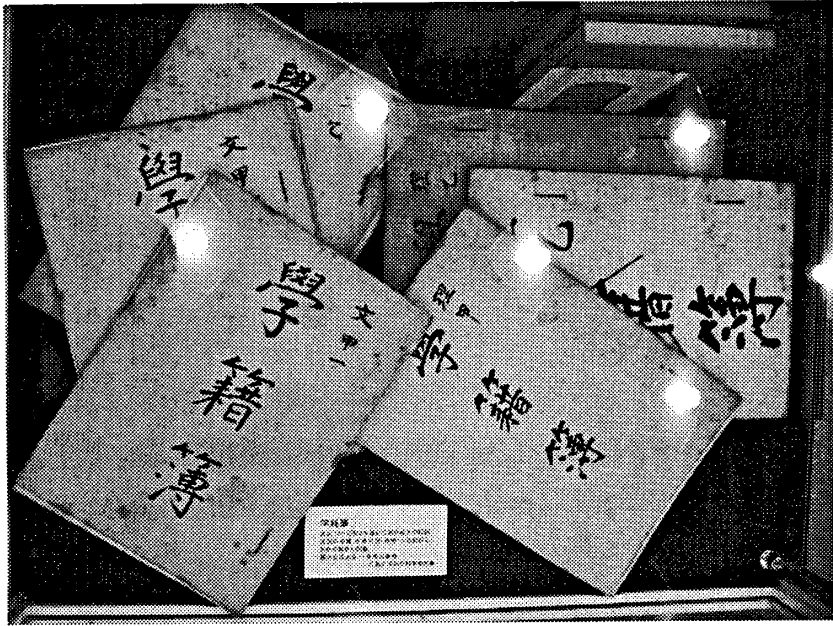
特別展示のひとつ「広高の遺産と広島大学」において展示の中心となった資料が、「生徒記録」(一九二六年以前は「学籍簿」)や、「学業成績」などの総合科学部が所蔵する広高の行政文書であった。

「生徒記録」は担任教官が生徒一人一人について、生徒の成績、出席状況、体格、生徒に対する短評などを一枚の用紙にまとめた記録であり、「学業成績」は生徒の教科ごとの成績と順位を三年間に渡って一瞥できるように記した記録である。それぞれ各年度ごとにほぼ揃った状態で保存されている。

教官の人事記録は教官自筆の履歴書や辞令等を綴り込んだ簿冊であり、今回の展示では中島光風氏の自筆履歴書を、遺族の了承を得て展示した。歌学の研究者であり歌人として有名な中島氏の自筆履歴書は、来場した広高同窓会会員の目をひとときわ引いた様子であった。

2 生徒記録関係資料複写サービス

今回の資料展において、広高同窓会会員のみに通知した企画が、生徒記録関係資料複写サービスの実施であった。広島大学に所蔵する広高関係資料のなかで充実しているのは前述のとおり総合科学部所蔵の「生徒記録」や「学業成績」であった。情報公開法の施行以来、これらの行政文書の内容に関しては、開示請求手続きを経た場合には、たとえ本人による請求であっても、個人情報に関わるため開示すること



陳列した学籍簿（展示ケース直上より撮影）

は不可能である。しかし今回の企画においては大学側から自発的に情報を公開する、いわゆる情報提供として位置づけ、在学中の記録や成績の複写を本人に限りサービスとして提供することとした。

広高同窓会を通じて利用申込書（資料三）を広高同窓会会員へ九月一日付けで送付し、希望者を募ることとした。送付の翌日より利用申込書が届きはじめ、翌年三月に最後の申込みがあるまで、総計二五三

名からの申込みがあった。このうち二名については記録の不備により残念ながら要望に応えることはできなかった。二〇〇三年度において通信連絡が可能な広高同窓会の会員数は一七六七名¹⁰、八〇年記念大会への参加会員数は三九八名であることを考えれば、この企画に対する会員の関心の高さがうかがえよう。なお、複写サービスの経費負担と実務は総合科学部及び同事務部の職員によった。

六、資料展を終えて

「広高二六年の歴史」展は、広島市中区基町の市立図書館を会場に十月一日（水）から一九日（日）までの間、毎週月曜日の図書館休館日を除く一六日間開催した。市立図書館のオープンスペースにあたる展示ホールにて開催したため、厳密な入場者数は不明であるが、会場に備え置いたパンフレット約二〇〇部は全て捌げるところとなった。パンフレットは創立八〇年記念祭当日の一二日以降に会場に置いたことを考えれば、相当数の来場があったものと考えられる。

この展示の企画を通じ、準備室が広高同窓会から一定の評価を得ることができたのは幸いであった。また総合科学部が共催に加わったことで、広高同窓会と総合科学部との新たな連携関係構築の緒に感じた感がある。その証左として、市立図書館に長らく預けられてきた広高同窓会の旧制広島高等学校資料は、二〇〇四年四月一日に発足する広島大学文書館に移管されることとなった。また二〇〇四年度は総合科学部創立から三〇年にあたるが、これを期に広高同窓会と総合科学部

同窓会との連携について、話し合いの場がもたれつつある。いずれも広島と広島大学との双方にとって意義深い協調体制に発展するものと思われる。

文書館では、広島同窓会から寄贈されるこれらの資料を二〇〇四年度中に整理し、保管体制を整えていく予定である。そして一般利用者のための公開体制を構築し、広島高の歴史を伝える貴重な資源を後世に伝えていく任務を文書館は果たすつもりである。

最後になったが、今回の展示に関して共催を快諾して下さった広島高等学校同窓会と、会場提供や各種の要望に応じて頂いた広島市立中央図書館、そして総合科学部に感謝したい。

注

- (1) 広島高等学校同窓会『会報』第三四号、二〇〇三年三月二〇日発行。
- (2) 「広島高等学校関係資料」「旧制高等学校史研究」一三号、一九七七年、一四五頁所収。「資料調査旅行報告記(山口・広島・松山・姫路・甲南の各高)」「旧制高等学校史研究」一四号、六二〜七二頁所収。
- (3) 財団法人大倉精神文化研究所『旧制高等学校文庫目録(附)六高・山岡資料目録』一九九〇年(第二版)。
- (4) パンフレットを収録するにあたり、原本の誤りを訂正した。訂正前の内容は以下のとおり。①整理番号一五九番(三頁)備考欄「石落の花」。②整理番号一七二番(三頁)の番号「一八二」。③創立八〇年記念式典・祝賀会の参集人員(六頁)「五八五名(来賓九名・恩師一名・他校同窓会代表六名・会員四四九名・同伴八八名・遺族二六名その他)」。

④同記念品「創立八〇年記念グラフィティ」。①②は誤植、③は大会直前の見込み数、④は計画段階の名称のため、それぞれ改めた。

(5) 前掲『会報』。

(6) 広島七〇年誌編集委員会編『広島高等学校創立七〇年記念 広島グラフィティ』広島高等学校同窓会、一九九四年、一九三〜一九七頁所収。

(7) 『広島高等学校一覽』各年度(一九二四〜一九四二年度)。広島大学文書館設立準備室所蔵(複製)。

(8) 広島高等学校資料保存委員会編『旧制広島高等学校創立七五年記念「青春回顧展」目録』一九九八年一〇月発行。ここには七〇年記念大会以降に作成した恩師写真パネルとして二二名の情報が記載されている。このうち六名については『広島グラフィティ』に追補として記載されているため、六名とした。

(9) 広島高等学校同窓有志の会『被爆五〇年の回想 広島とヒロシマ』一九九五年。

(10) 広島高等学校同窓会編『平成十五年 会員名簿』二〇〇三年。
(こみやま みちお・広島大学文書館設立準備室勤務)

高等教育研究開発センター助手)

中国新聞（二〇〇三年九月三〇日付）で報じられた資料展の紹介記事（中国新聞社提供）

丹下・近藤・阿川氏も…卒業生4800人

旧制広島高の創立八十年を

記念する展示会が十月一日から十九日まで、広島市中区の市立中央図書館である。同高の流れを継ぐ広島大の文書館に贈った目の丸の寄せ書き、設立準備室や総合科学部も共催、同大所蔵の資料を初めて一般公開する。初公開は広島高の校印、教官の履歴書のつくり、生徒記録と成績表など。個人情報は閉じたまま展示し、本人が希望すればその部分だけコピーを差行。戦後の学制改革で広

旧制広島高の創立80年記念展を控え、資料をチェックする広島大文書館設立準備室の職員

旧制広島高 80年記念展

あすから広島中央図書館



島大に包括され、一九五〇年に最後の卒業式をした。この間、四千八百人の卒業生を輩出した。同窓会の平岡敬会長は「八三年以後、同窓会が五年ごとに関わってきた。広島大にや公開を担当する文書館がオープンするのを機に、同窓会関係の資料を所蔵する市立図書館などと展示会を

学徒出陣寄せ書きなど200点

展示会は創立六十一年の一九八三年以後、同窓会が五年ごとに関わってきた。広島大にや公開を担当する文書館がオープンするのを機に、同窓会関係の資料を所蔵する市立図書館などと展示会を

旧制広島高等学校創立 80 年記念

資料3

資料展「広高26年の歴史」

特別企画 生徒記録関係資料複写サービス

利 用 申 込 書

年 月 日

住 所

氏 名

電話番号 ()

卒業年及び所属学級

下記資料の複写を申し込みます。

資 料 名	複 写 の 希 望
「生徒記録」 卒業年ごとに生徒の成績・出席状況・体格・人物短評などが担任教官により記載されています。 (但し年度により形式が異なるため、これら全てが記載されているとは限りません)	希望する・希望しない
「学籍簿」 大正 13・14・15 年度の在校生の記録です。記載内容は「生徒記録」と同様です。	希望する・希望しない
「学業成績」 学年・学科目ごとの成績と席次が記載されています。	希望する・希望しない

(複写をご希望の資料について該当欄に○を付して下さい)

ご注意：

- ・申請者および資料の受取人は本人に限ります。
- ・資料は本人宛で資料展終了後に郵送致します。
- ・全卒業生徒の記録が残されているはずですが、資料の欠落により複写希望に応えられない場合がございますことをご了承願います。

申込書の宛先 〒739-8512

広島県東広島市鏡山1丁目7番1号

広島大学総合科学部事務部庶務係

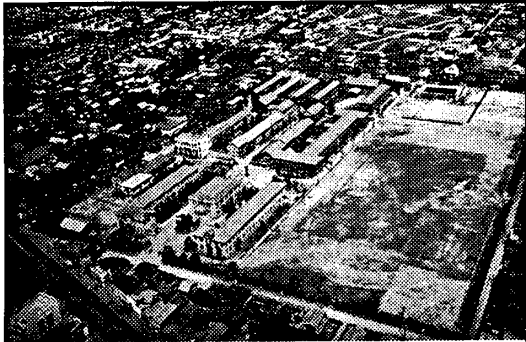
電話 0824(24)6306 (担当：蔵谷)

資料2

学校の建物

旧制広島高等学校創立80年記念「広高26年の歴史」展

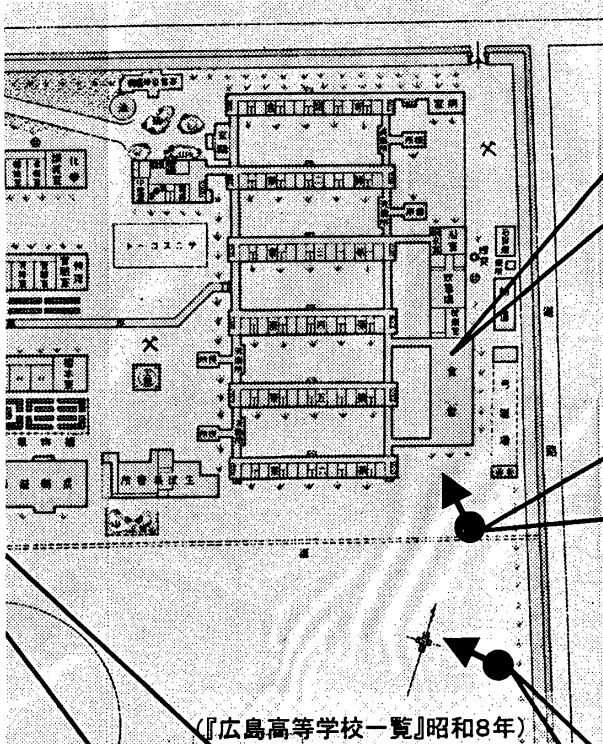
平成15年10月



旧広高全景(昭和26年、広大皆実分校時代)



薫風寮入寮式新歓コンパ(昭和23年4月)



『広島高等学校一覽』昭和8年



薫風寮前にて(昭和2年頃)

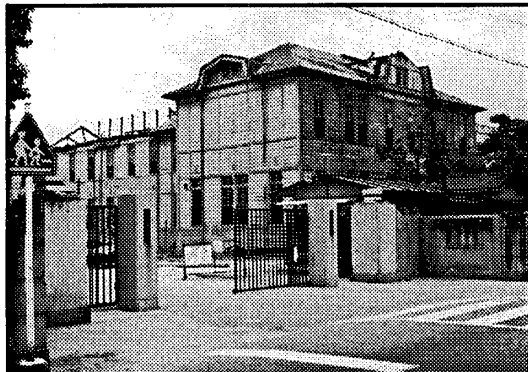


便所(昭和30年代後半、広大附属中・高時代)



グラウンド(昭和22年頃、右の建物は薫風寮)

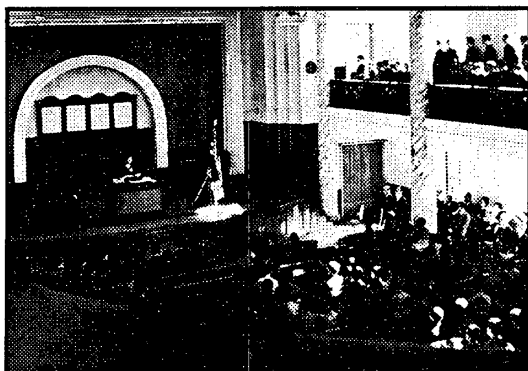
旧制広島高等



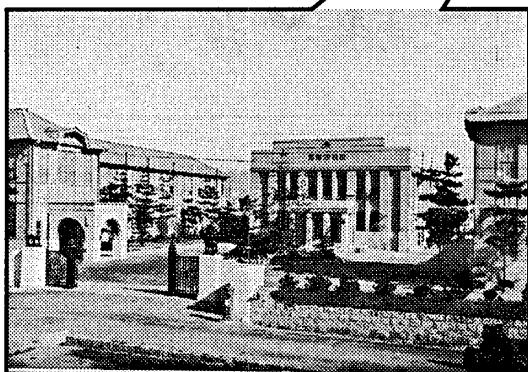
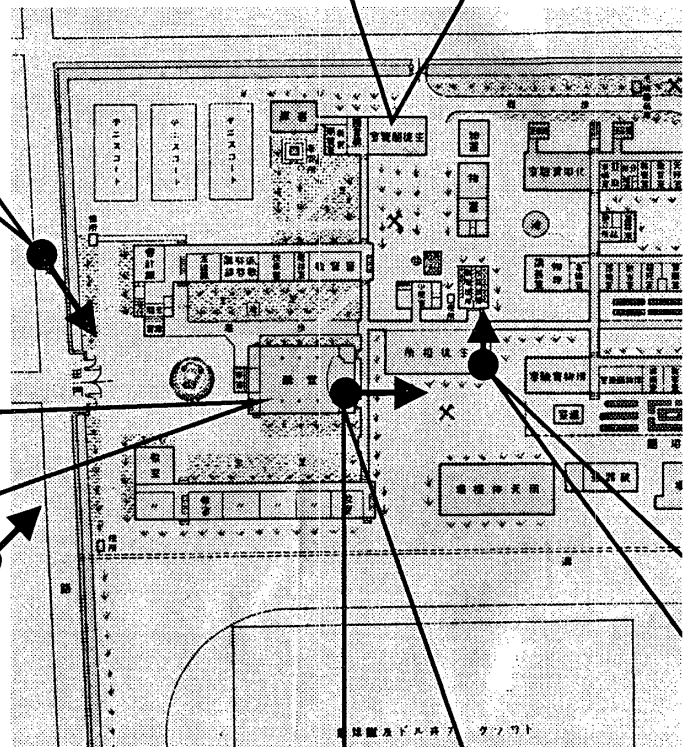
解体される広高教室(昭和40年代前半)



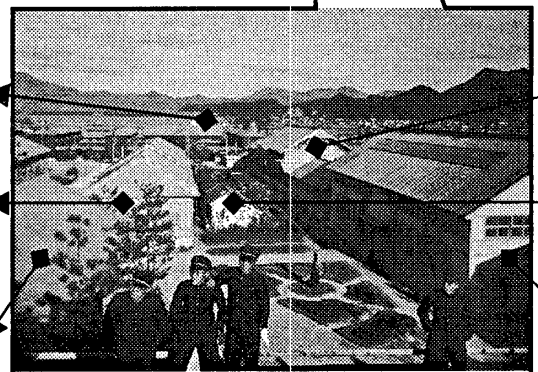
図書館生徒閲覧室(昭和7年頃)



講堂内部: 広高の終焉(昭和25年2月25日)



正門・講堂・本館(昭和3年頃)



講堂屋上から薫風寮を望む(昭和7年頃)

薫風寮

博物実験室

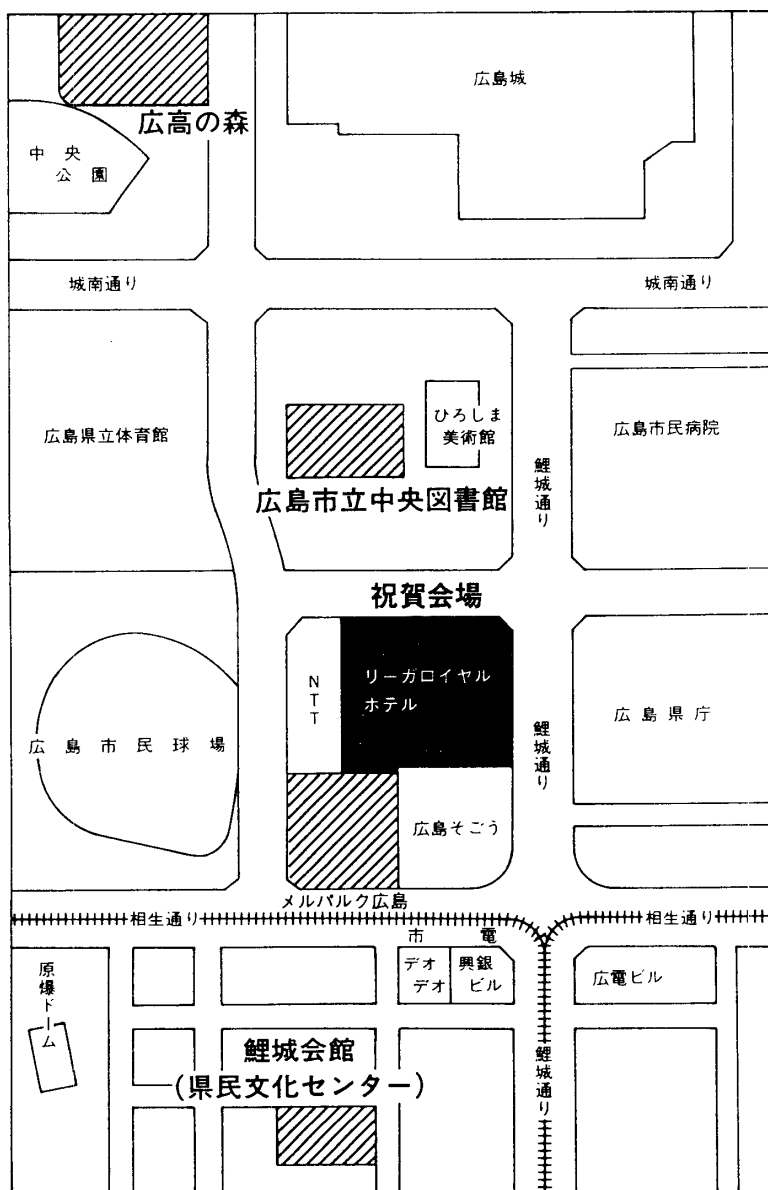
生徒控所

柔剣道場

温室

雨天体操場

リーガロイヤルホテル広島 (祝賀会場)・広高の森・広島市立中央図書館・メルパルク広島・鯉城会館 (県民文化センター) 位置図



旧制広島高等学校創立80年記念
「広高26年の歴史」展 目録

編集 広島高等学校同窓会
広島大学文書館設立準備室

発行 平成15年10月

広島高等学校同窓会

〒730-0851 広島市中区榎町7-6

A X I S 榎町203号

TEL/FAX (082) 291-9646

年	月日	事項
1973(昭和48)	8・30	『創立50年記念誌』刊行。
	10・13	広高創立50年記念講演会(見真講堂)。講師は丹下健三(8理甲)、阿川弘之(15文乙)、紀野一義(17・9文甲)。
	10・14	広高創立50年記念式典・祝賀会開催。 広島市立中央公園内に「広高の森」を建設。ここに「大谷繞石句碑」「北島葎江歌碑」を建立・除幕。 街頭行進(本通り)。
1974(昭和49)	6・7	広島大学に総合科学部を設置(教養部は1975(昭和50)年3月31日廃止)。
	6・21	創立50年記念アルバム『青春の譜』刊行。
1978(昭和53)	10・17	広高創立55年記念講演会。講師は木田宏(16文乙)、鳴沢宏英(17文乙)。
	10・18	広高創立55年記念式典・祝賀会。 街頭行進(本通り)。
1979(昭和54)	9・2	「広高の森」内に「鳴沢花軒句碑」「中島光風歌碑」建立・除幕。
1983(昭和58)	9・30	広高創立60年記念誌『青春回想録』刊行。
	10・7	『広高創立60年記念 朝日新聞広告特集 銀燭ゆらぐ』発行。
	10・8	広高創立60年記念音楽会(ひろしま青春賛歌コンサート)(郵便貯金会館)。 第1回資料展(あかしや会館)。
	10・9	広高創立60年記念式典・祝賀会。 街頭行進(本通り)。
1988(昭和63)	10・4	広高創立65年記念式典・音楽会・祝賀会。 第2回資料展(広島市立中央図書館)(9日まで)。
1993(平成5)	3・31	広島大学総合科学部が東広島市に移転を完了。
	10・1	広高創立70年記念誌『落暉燃ゆ』刊行。 広島大学附属中・高等学校正門横に「旧制広島高等学校之跡地」碑建立。
	10・5	「広高70年の軌跡展」開催(広島市立中央図書館)(17日まで)。
	10・9	広高創立70年記念講演会(県民文化センター)。講師は唐津一(15理甲)、別所汪太郎(14文甲)。
1994(平成6)	10・10	広高創立70年記念式典・音楽会・祝賀会。
	10・1	広高創立70年記念誌「広高グラフィティ」刊行。
1995(平成7)	7・20	『広高とヒロシマ』刊行。
1997(平成9)	8・1	『ヒロシマと広高 ー被爆五十二年・回顧と追悼ー』刊行。
1998(平成10)	7・22	『生徒動員日誌』刊行。
	7・24	『薫風寮史』(復刻版)刊行。
	9・2	旧広高講堂(現広島大学附属中・高等学校講堂)が国の文化財建物に登録される。
	10・1	「青春回顧展」開催(広島市立中央図書館)(15日まで)。
2000(平成12)	10・10	広高創立75年記念式典・祝賀会。
	8・1	『広高と原爆』刊行。
2003(平成15)	6	広高創立80年記念植樹(「広高の森」へ菩提樹1株)。
	10・1	広高創立80年記念資料展「広高26年の歴史」(広島市立中央図書館)(19日まで)。
	10・12	広高創立80年記念式典・音楽会(旧広高講堂)・祝賀会(リーガロイヤルホテル広島)。

ゴチックで表記した事項は、「広高26年の歴史」展におけるパネル年表に記載したことを示す。

年	月日	事 項
1938(昭和13)	7・23	排球部インターハイ優勝。
1940(昭和15)	7・8	長髪禁止を生徒課より掲示。
1941(昭和16)	4	飲酒・喫煙・マントの着用を禁止。
	4	寮委員は、生徒課の任命制となる。
1942(昭和17)	4	文科80名、理科200名入学、新入生からカーキ色制服制帽となる。
	7・30	最終のインターハイで広高野球部優勝。蹴球部は決勝で惜敗。
	8・21	高等学校の修業年限を1年短縮して2年とすることを閣議決定(18年度入学生より適用)。
1943(昭和18)	10・12	理科系及び教員養成系以外の学生の徴兵猶予を停止。
	10・25	文部省令により臨時徴兵検査が11月5日まで施行。
	11・15	広高生18名が出陣学徒となり、その壮行式と送別会を挙行。
1944(昭和19)	3・7	決戦非常措置による学徒動員実施要項にもとづき、通年動員実施。
	7	3年生は下松市の東洋鋼鋳へ、2年生は下松東洋鋼鋳と向洋の日本製鋼所へ勤労働員。
	12	呉海軍工廠、暁部隊、陸軍兵器廠などへ短期勤労働員。
1945(昭和20)	3	昭和18年度入学生が在学期間2カ年で卒業となる。
	7・5	緊急短期動員として1年生(入学予定者)約25名、日本製鋼所広島製作所へ入所。
	8・6	工場電休日のため、多くの寮生は町へ出たところへ原爆投下。被爆者、行方不明者続出。 皆実町校舎は全・半壊し、ほとんど使用不能。
	8・26	日本製鋼所で戦災死亡者合同慰霊祭を挙行。
	9	日本製鋼所内の青年学校を借用し、授業開始。
	11・10	日本製鋼寮の食堂で新生薫風寮の結成式を挙行。
1946(昭和21)	2・21	大竹町の元海軍潜水学校跡に全面的に移転し、3学期の授業開始。薫風寮も大竹へ移動開寮。在学期間が3年制に復帰したため、21年度の卒業生なし。
	6	土日月の3日休日制実施。薫風寮生の健康状態(食糧不足による)を考慮し、夏休み前の試験延期。
	10・25	生徒大会を開き、広高復興のため350万円を目標に各地で募金運動展開。
1947(昭和22)	4	皆実町校舎の修築工事始まる。 3年生のみ皆実町校舎へ移転。
	10	皆実町校舎復興、全面移転。 薫風寮も自治寮として復活。
	12	蹴球部、インターハイ優勝。
1948(昭和23)	7	蹴球部、最後のインターハイ優勝。
	7・30	水泳部インターハイ優勝。
1949(昭和24)	2・25	『薫風寮史』刊行。
	5・31	国立学校設置法公布により、新制広島大学発足(広高は広島大学に包括され、広島大学広島高等学校と改称。皆実町には広島大学皆実分校が設置され、広高教官の多くが授業を担当)。皆実分校主事に内藤匡(広高第8代校長)が就任。
1950(昭和25)	3・10	旧制広島高等学校最後の卒業式挙行、ここに26年の歴史終焉。
1961(昭和36)	3・6	広島大学皆実分校と東千田町の教育学部附属中・高等学校との相互移転完了。 皆実分校は東千田町へ移ったため分校(教養部)と改称。
1963(昭和38)	9・1	広高創立40年記念「青春の碑」除幕。
1964(昭和39)	4・1	国立学校設置法施行規則の改正により、広島大学分校は教養部と正式に改称。 教養部長に羽白幸雄(4文乙)が就任。

旧制広島高等学校のあゆみ

年	月日	事 項
1919(大正8)	1・15	広島経済研究会の熊平源蔵氏、広島高等学校の設置を提唱。
	9・15	広島市公会堂において高等学校設置期成県民大会を開催、参加者約3千名。
1920(大正9)	3・9	望月圭介前代議士より閣議で広島高等学校設置案確定との電報を受ける。
1923(大正12)	12・10	官制改正(勅令第501号)で広島高等学校を設置。
1924(大正13)	1・30	本館の新築成る。
	3・18	第1回入学試験施行。
	4・12	入学式を挙行し、生徒200名の入学を許可。
	12・4	薫風寮の新築成る。
1925(大正14)		この年、寮歌「銀燭揺らぐ」を発表。
1926(大正15)	4・8	生徒178名入学。生徒総数555名となり、全学年揃う。
1927(昭和2)	1・30	講堂の新築成る。
	3・10	第1回卒業式挙行(卒業生152名)。
	10	広高生の一部、「広高社会科学研究会」結成。
1928(昭和3)	1	広高蹴球部インターハイ初優勝。
	1・12	総工費65万円を要した校舎の落成を祝い、開校式を挙行。
	10・10	創立記念日と定め、第1回記念式を挙行。
1929(昭和4)	10	広高生徒、県立二中学生とともにマルクス事件で検挙される。
	11	思想善導や軍事教練に反対していた「広高社会科学研究会」のメンバーら計9名の広高生が取調を受ける。
		このころ会食室が設けられ、思想善導のため、順次、校長、または生徒主事との会食はじまる。
1930(昭和5)	5・7	受持教官規程を制定。
1931(昭和6)	1・31	軍事教練反対のピラを撒布。
	5	広高生徒1名左翼運動で検挙され停学処分。
	7・25	硬式庭球部、インターハイ優勝。
	10	満州事変反対のピラを配布。
1932(昭和7)	1・13	広高生徒の一部、自治学生会議結成のため、「広高学生新聞」を発行配布。
	4	左翼紙「赤インキ」を発行、配布。
1933(昭和8)	4・1	北島葭江生徒課長辞任し、松本正六教授就任。
	8・9	自治学生会機関紙「前進」を極秘裏に発行。
	10・10	広高創立10周年記念式を挙行。
	11・5	同人雑誌「潮音」発禁。
1934(昭和9)	3・31	松本正六生徒課長解任、後任に浜本勝次郎教授、池上喜作講師罷免。
	4	「前進」を「広高戦士」と改題。
	5	京都・東京の同窓会、母校の紛争について声明書を発表。
	6・6	生徒大会を開き、同盟休校、5教官の辞職勧告その他を決議。
	6・13	3教授の休職、2講師の解職をふくむ学校当局の案を生徒大会で認め、同盟休校中止。
	6・23	在校生42名、卒業生7名一斉検挙。のちに「広高赤化事件」として報道される。
	8・2	下田卯市教授以下5教授を依頼免官。
	9・6	生徒の処分決定(起訴された3名を除名、諭旨退学7名、本学年間停学8名、1カ月謹慎25名)。

広高創立記念大会行事一覧

創立 40 年	記念碑除幕式	昭和38(1963)年 9月1日(日) 10:00~16:00 参集人員200余名
	記念募金	寄付金額 1,645,980円(一口 500円以上) 寄付者総数 1,468名
	記念碑概要	○「青春の碑」建立 設計者:近藤芳美(9理甲) 碑表 寮歌「銀燭ゆらぐ」揮毫:作詞者・古谷省三(2文乙) 碑裏 由来記 献文・揮毫:羽白幸雄(4文乙) ○講堂正面の校章を碑の下にはめこみ保存
創立 50 年	記念式典・祝賀会	昭和48(1973)年10月14日(日)12:00~15:30 参集人員738名(来賓6名・恩師19名・恩師同伴2名・会員673名・会員同伴37名)
	記念募金	寄付金額 10,787,500円(一口 5,000円以上) 寄付者総数 1,663名
	記念行事	○記念講演会(見真講堂) 10月13日(土)13:00~16:00 講師 丹下健三(8理甲)・阿川弘之(15文乙)・紀野一義(17/9文甲) ○「広高の森」建設(森 450万円 句碑・歌碑 100万円) ○『創立50年記念誌』発行 ○街頭行進(本通り)10月14日17:00~18:00
	記念品	小銭入れ
創立 55 年	記念式典・祝賀会	昭和53(1978)年10月18日(日)11:00~15:00 参集人員529名(来賓恩師15名・会員488名・会員同伴26名)
	記念募金	寄付金額 722,600円
	記念行事	○記念講演会(旧広高講堂) 10月17日(土) 講師 木田 宏(16文乙)・鳴沢宏英(17文乙) ○街頭行進(本通り) 10月18日17:00~
創立 60 年	記念式典・祝賀会	昭和58(1983)年10月9日(日)12:00~15:30 参集人員755名(来賓恩師11名・会員684名・会員同伴60名)
	記念募金	寄付金額 14,613,080円(一口10,000円以上) 寄付者総数 1,230名
	記念行事	○記念音楽会「ひろしま青春讃歌コンサート」(郵便貯金会館) 10月8日(土) 記念音楽会はRCCテレビの公開番組 ○記念誌「青春回想録」発行 ○第1回資料展(あかしや会館) ○街頭行進(本通り) 10月9日17:00~18:00
	記念品	広高煎餅(土産)
創立 65 年	記念式典・祝賀会	昭和63(1988)年10月9日(日) 参集人員606名(来賓恩師同伴79名・会員527名)
	記念行事	○広高資料展示会(市立中央図書館) 10月4日(火)~9日(日) 『広島高等学校設置運動史』配布 ○昭和天皇御不例中にて万事地味な内容。街頭行進も中止。 ○交響詩「怒涛」カセットテープ製作
創立 70 年	記念式典・祝賀会	平成5(1993)年10月10日(日) 参集人員803名(来賓6名・恩師2名・恩師遺族6名・会員624名・会員同伴96名・会員遺族69名)
	記念募金	寄付金額 16,917,848円(一口10,000円以上) 寄付者総数 1,073名
	記念行事	○文化講演会(県民文化センター) 10月9日(土) 13:30~16:30 講師 唐津 一(15理甲) 別所行太郎(14文甲) ○記念誌「落暉燃ゆ」発行 ○広大附属中・高等学校正門横に「広島高等学校之跡地」碑建立 ○「広高70年の軌跡展」開催(広島市立中央図書館) 10月5日(火)~17日(日) ○角浩画伯製作「広高憧憬」(リトグラフ)配布 ○記念ゴルフ大会開催(広島C・C) 10月8日(金) ○記念大会ビデオ製作
創立 75 年	記念式典・祝賀会	平成10(1998)年10月10日(土) 参集人員583名(来賓6名・恩師2名・恩師遺族2名・会員489名・同伴65名・遺族19名)
	記念行事	○『生徒動員日誌』刊行。 ○「青春回顧展」開催(広島市立中央図書館) 10月1日(木)~15日(木)
創立 80 年	記念式典・祝賀会	平成15(2003)年10月12日(日) 式典・音楽会(旧広高講堂)・祝賀会(リーガロイヤルホテル広島) 参集人員 590名(来賓11名・恩師1名・他校同窓会代表6名・会員398名・同伴85名・遺族22名 その他)
	記念募金	寄付金額 7,240,000円(一口10,000円) 寄付者総数724名
	記念行事	○記念植樹(「広高の森」へ菩提樹1株) ○資料展「広高26年の歴史」(広島市立中央図書館) 10月1日(水)~19日(日)
	記念品	寮歌集(CD付)、会員名簿、創立80年記念大会アルバム

氏名	教科	在任期間
千綿英一*	教 練	昭和17年度中～(不明)
D. Seckel(テイトリック・セッケル)	独 語	昭和11.12.12～昭和14.3.31
手塚良道*	漢 文	昭和2.6.2～昭和2.7.31
東条操*	国 語	昭和6.9.30～昭和7.7.31
時野谷勝*	国 史	昭和24.5.31～昭和25.3.31
十時 弥	校長(初代)	大正12.12.11～昭和7.3.31
登張正実	独 語	昭和18.3.31～昭和25.3.31
鳥越良雄	英 語	昭和23.10.9～昭和25.3.31
内藤 匡	校長(8代)	昭和20.11.24～昭和25.3.31
中川 正	法 制	昭和21.4.30～昭和25.3.31
中島 一郎	独 語	大正13.3.12～昭和9.8.2
中島光風	国 語	昭和9.9.4～昭和20.8.30
長須賀政智*	柔 道	昭和13.9.30～昭和16.3.31
仲瀬善太郎	物理、数学	大正15.3.31～昭和8.4.10
中谷晴夫	化 学	昭和21.6.13～昭和25.3.31
中西文三*	柔 道	昭和8.5.10～昭和9.3.31
中原与茂九郎	歴 史	大正15.3.31～昭和25.3.31
中村義男*	仏 語	昭和24.10.20～昭和25.3.31
中村利三郎	教 練、舎監	昭和10.10.12～昭和20.3.31
永島 一三*	柔 道	昭和16.5.5～(不明)
長島喜三	倫理、独語	大正14.3.31～昭和9.5.5
永野羊之輔	倫 理	昭和21.2.20～昭和25.3.31
鳴沢寡愆	英 語	大正14.3.20～昭和25.3.31
名和長光*	植物、動物 自然科学	大正13.3.13～大正15.12.3
新野作平*	教 練	昭和5.9.9～昭和8.11.30
西岡薫祐	鉱 物	大正13.4.1～昭和4.3.31
仁科武光*	独 語	昭和21.9.30～昭和25.3.31
西山福治	製 図	昭和4.4.10～昭和25.6.29
橋本文夫	独 語	昭和10.4.8～昭和15.3.30
羽白幸雄	独 語	昭和19.11.10～昭和25.3.31
羽田野三郎	数 学	昭和18.10.31～昭和25.3.31
浜本勝次郎	国 語	大正14.3.31～昭和10.4.30
林 広助	体 操	大正13.3.26～昭和6.3.31
林 恕栄央*	体 操	昭和10.1.31～昭和17.9.30
原 貫之助*	図 画	大正13.3.24～昭和17.3.31
晴山省吾*	動 物	昭和5.4.10～昭和10.8.31
比企 修	化学、自然科学	大正15.4.5～昭和10.3.30
日高第四郎	哲学、独語	大正15.3.31～昭和9.8.2
日比野 祐	数 学	昭和23.10.31～昭和24.8.30
平賀義彦	化 学	昭和9.8.31～昭和18.8.21
藤井達之	英 語	昭和8.3.31～昭和9.1.31 昭和22.9.30～昭和25.3.31
富士田英三	独 語	昭和3.4.9～昭和4.1.31
藤田五郎	独 語	昭和13.8.31～昭和17.3.24
藤野与三*	弓 道	昭和14.9.26～昭和16年度中

氏名	教科	在任期間
藤吉正之進*	数 学	昭和17.4.1～昭和19.3.31
フランク・クック	英 語	大正15.8.16～昭和3年度中
フランク・サビエル・ラホレット*	独 語	昭和11.3.31～昭和11.12.10
古城 屯*	柔 道	昭和6.4.15～昭和8.4.10
星野歳馨	歴 史	大正13.3.13～昭和11.12.23
細川藤右衛門	数 学	昭和9.9.4～昭和20.8.6
細谷恒夫*	論理、独語	昭和9.5.31～昭和10.4.25
堀江久勝	倫 理	大正13.3.4～昭和9.6.12
前田威成	博物、植物、生物	昭和17.10.31～昭和25.3.31
増田幸一	心理、独語	昭和4.3.30～昭和7.12.6
松木鶴太郎*	弓 道	大正14.5.31～昭和14.9.30
松崎寿和	歴 史	昭和21.12.28～昭和25.3.31
松谷安蔵	体操、剣道	大正14.10.15～昭和18.7.31
松本正六	漢 文	昭和2.9.5～昭和25.3.31
松本志郎	物 理	昭和21.3.1～昭和23.3.31
真鍋義雄	英 語	昭和17.3.25～昭和22.10.19
水野忠敏	独 語	昭和23.8.31～昭和25.3.31
溝下 征*	化 学	昭和24.8.31～昭和25.3.31
南 敏造*	体操、教 練	大正15.1.8～昭和6.3.31
養田高志*	数学、自然科学	昭和17.3.31～昭和18.3.3
宮原 節*	物 理	昭和18.3.31～昭和21.3.30
三輪 彰	数 学	大正14.3.19～大正15.12.3
武藤長平*	漢 文	大正15.4.10～昭和9.3.31
村田辰五郎*	教 練	昭和2.3.15～昭和4.8.1
森 義孝	心理、倫理、独語	昭和7.12.21～昭和23.3.31
森岡健二	国 語	昭和21.3.15～昭和24.4.30
安田 真*	柔 道	昭和9.6.25～昭和15.8.28
柳田加藤次*	英 語	昭和9.1.31～昭和10.3.30
矢野純臣	独 語	昭和15.3.30～昭和19.3.31
山尾政治	法制経済	昭和9.9.4～昭和18.9.30
山口 薫*	英 語	昭和24.8.31～昭和24.9.18
山口 靖*	教 練	昭和13年度中～昭和16年度中
山崎喜重郎	数 学	昭和3.4.9～昭和25.3.31
山崎三子次郎*	教 練	昭和10.8.1～昭和12.11.20
山下秩光	独 語	大正13.4.1～昭和18.3.24
山下恒次	歴 史	昭和11.12.23～昭和23.10.16
山本外吉	英 語	大正14.3.31～昭和19.6.15
力丸慈円	心理、倫理	大正14.3.20～昭和4.3.19
ルッ・ベック*	独 語	昭和14.4.1～昭和16.2.1
和田 弁	英 語	昭和21.4.30～昭和25.3.31
渡辺 鼎*	歴 史	昭和5.4.10～昭和6.3.31
渡辺清彦	動物、植物、生物	昭和2.3.26～昭和17.1.28
渡橋群一*	(不明)	昭和14.8.31～昭和15.3.31

教官一覧

本表は広島高等学校同窓会会員名簿、広島高等学校一覧および広島大学が所蔵する人事記録をもとに、旧制広島高等学校に奉職した教官について一覧にしたものである。氏名をアイウエオ順に並べ、担当教科、在任期間について示した。氏名欄に*印のあるものは展示パネルに顔写真がないことを示す。

氏名	教科	在任期間
青山 延敏	独 語	昭和 9. 9.10~昭和 13. 8. 6
赤崎 文作*	教 練	昭和 16. 5.31~昭和 18. 1.31
朝比奈 三郎	教 練	昭和 7. 1. 9~昭和 10. 8. 1 昭和 13. 1.10~昭和 13. 9.22
芦田 弘夫	独 語	昭和 19. 3.31~昭和 25. 3.31
阿部 余四男*	動 物	大正 15. 4.10~昭和 2. 3.31
安藤 祐専	校長(7代)	昭和 18. 9.30~昭和 20.11.24
飯島 信之*	教 練	大正 14. 4.24~昭和 2. 3.15
飯田 御世吉郎	漢 文	大正 13. 3.10~昭和 9. 6.12
池田 英苗	化学、自然科学	大正 14. 3.20~昭和 19. 3.31
池上 喜作	体 操	大正 13. 1.11~昭和 9. 3.31
石田 巳代治	数 学	大正 15. 4. 5~昭和 6. 1.24
石川 伊雄*	教 練	昭和 6. 9. 1~ (不明)
石村 忠次	哲学、独語	昭和 16. 8. 5~昭和 22. 7.10
伊藤 賢三*	教 練	昭和 17. 4.18~昭和 19. 2.29
岩佐 正	国 語	昭和 24.12.28~昭和 25. 3.31
岩村 喜代人*	教 練	昭和 17. 1. 5~ (不明)
上野 義夫	物 理	昭和 18. 3.31~昭和 25. 3.31
W. Donat (ウ・エムテル・ドナト)	独 語	大正 14.11.15~昭和 11. 3.31
潮田 富貴蔵	歴 史	昭和 19. 3.31~昭和 21. 3.31
エーメル・キルヒル*	独 語	大正 14. 3.31~大正 14.11.30
大内 侃*	物 理	昭和 23. 3.31~昭和 25. 3.31
大谷 正信	英 語	大正 13. 3.10~昭和 8.11.17
大藪 虎亮	国 語	昭和 9. 9. 4~昭和 25. 3.31
岡上 梁	校長(3代)	昭和 9. 8. 7~昭和 11.12.19
岡田 甫	哲 学	昭和 18. 3.31~昭和 21. 2.24
小川 二郎*	英 語	昭和 9. 6. 6~昭和 10. 3.15 昭和 10. 4.10~昭和 18. 3.31
御輿 員三	英 語	昭和 23. 3.31~昭和 25. 3.31
尾関 文二郎*	英 語	昭和 12. 3.31~昭和 13.12.15 昭和 19. 3.31~昭和 19. 6. 3
織田 祐萌	哲学、独語 校長(6代)	昭和 9. 8.30~昭和 16. 4.18 昭和 16. 4.18~昭和 18. 9.30
梶山 英二*	博 物	昭和 17. 3.15~ (不明)
門脇 願珠*	英 語	大正 15. 4.10~大正 15. 7.31 昭和 8. 9.16~昭和 9. 2.22
上浦 種一	法制経済、独語	大正 13. 3.29~昭和 9. 8. 2
川島 琢治	独 語	昭和 18. 3.24~昭和 19. 5.30
菊池 清治	校長(5代)	昭和 15. 1.13~昭和 16. 4.18
貴島 三徳*	(不明)	昭和 9. 3.31~昭和 10. 2. 8
北島 葭江	国 語	大正 13. 3.10~昭和 9. 8. 2
北村 正次郎*	英 語	昭和 24. 8.31~昭和 25. 3.31

氏名	教科	在任期間
木藤 正典	数 学	昭和 21. 4.30~昭和 25. 3.31
久司 慶三*	歴 史	昭和 4. 3.31~昭和 6. 8.24
久保 良敏*	心 理	昭和 24. 8.12~昭和 25. 3.31
古賀 恒吉*	剣 道	昭和 13. 1.13~昭和 14. 4.14
後藤 俊瑞*	漢 文	大正 15. 4.10~昭和 2. 8.31
小西 兵太郎	漢 文	昭和 9. 9.19~昭和 15. 4.24
小日向 幹夫	英 語	大正 15. 4. 5~昭和 19. 4.28
雑賀 忠義	英 語	大正 13. 4.25~昭和 25. 3.31
佐々木 茂*	柔 道	昭和 2. 1.10~昭和 6. 4.15
佐中 壮	歴史、独語	昭和 6. 8.31~昭和 19. 3.31
S. Weimer (ジークフリート・ウイマー)*	独 語	昭和 16. 4.14~昭和 18. 3.31
塩谷 鴻*	歴 史	昭和 4. 4.21~昭和 5. 4.27
渋谷 準蔵*	独 語	昭和 19. 5.31~昭和 25. 3.31
下田 卯市	数 学	大正 13. 3.12~昭和 9. 8. 2
下村 清*	英 語	大正 13.11.22~大正 15. 7.31
志茂山 保光	物理、数学、 自然科学	大正 14. 3.20~昭和 18. 3.31
勝谷 茂	体 操	昭和 22. 9.30~昭和 25. 3.31
新開 長英	倫 理	昭和 9. 8.31~昭和 13. 3.19
新保 寅次	校長(2代)	昭和 7. 3.31~昭和 9. 8. 7
新村 秀一	漢 文	昭和 15. 6.20~昭和 19.12. 5
杉本 直次郎	歴 史	大正 14. 3.31~昭和 6.11.10
鈴木 金一*	自然科学	昭和 12. 9.30~昭和 15.12.31
鈴木 敏也*	国 語	昭和 8. 4.10~昭和 9. 9.15
鈴木 正利	地質鉱物、 地理製図	昭和 2. 4. 1~昭和 25. 3.31
鈴木 捨吉*	体 操	昭和 18. 9.11~昭和 21. 3.28
澄谷 泉	化 学	昭和 19. 3.20~昭和 25. 3.31
清家 美材	独 語	大正 14. 3.20~昭和 21. 3.20
関原 六*	教 練	昭和 4. 8. 1~昭和 7. 1. 9
添野 信	校長(4代)	昭和 11.12. 9~昭和 15. 1.13
高尾 勝*	(不明)	昭和 15. 4.12~昭和 15. 7.31
辰巳 隆*	化 学	昭和 20. 2.27~昭和 21. 3.30
田中 晃	倫 理	昭和 13. 3.19~昭和 15. 4.10
田中 重芳*	図 画	大正 13. 3.24~昭和 2. 4.30
田中 忠*	教 練	昭和 13. 9.30~昭和 14. 9.30
谷 友幸	独 語	昭和 17. 3.25~昭和 19. 4.28
谷口 鉄雄 (太田)	倫 理	昭和 15. 4. 5~昭和 20. 3.17
谷本 勉*	英 語	昭和 24. 8.12~昭和 25. 3.31
近木 尚	化 学	昭和 18. 9.30~昭和 24. 3.31
C. W. Copp (チャールズ・ウイソップ・カッパ)	英 語	昭和 4. 4. 1~昭和 17. 3.31

112	北島霞江	吉野山	近畿観光会	1941年	136	谷口鉄雄	文学芸術論集 (中国古典文学体系54)	平凡社	1974年
113	"	飛鳥の古都	河原書店	1947年					
114	"	歌集なご	北島亨一	1967年	137	"	美術史論の断章	中公美術出版	1983年
115	雑賀忠義	英詩入門	東邦社	1938年	138	谷友幸	神様の話	白水社	1940年
116	鳴沢寡愆	印象と研究	中外出版	1925年	139	"	風景画論 (リルケ全集5)	三笠書房	1943年
117	"	Aspects of the new Haiku Poetry	退官記念 事業会	1956年	140	"	デオティーマ (恋文)	世界文学社	1947年
118	"	句集万年青(上・下)	同刊行会	1968年	141	"	ベートオヴェン (養徳叢書)	養徳社	1947年
119	"	虚子鑑賞	白川書院	1971年	142	"	リルケ伝	創元社	1948年
120	"	花軒遺稿わが句 ものがたり	十一房出版	1979年	143	"	ゲーテ芸術について	アテナ書院	1948年
121	大藪虎亮	奥の細道の新研究	研精社	1925年	144	"	リルケ(アテネ文庫)	弘文堂	1951年
122	"	日本永代蔵新講	白帝社	1937年	145	"	ドイツ文学論考	郁文堂	1982年
123	"	芭蕉紀行全集新解	明治書院	1955年	146	登張正実	潮騒集	郁文堂	1979年
124	中島光風	上世歌学の研究	筑摩書房	1945年	147	羽白幸雄	点心帖	徳間書店刊	1949年
125	"	中島光風歌集	同刊行会	1979年	148	松崎寿和	草戸千軒	学生社	1968年
126	"	(続)中島光風歌集	"	1981年	149	鈴木正利先生追想記		同刊行会	1970年
127	山尾政治	法学綱要(全)		1974年	150	谷友幸先生追想録		"	1988年
128	細川藤右衛門	射影幾何学	岩波書店	1943年	151	岡田甫先生追想記 たどりつつ*		"	1988年
129	藤田五郎	アニリン(シエンチ ンガア著)	天然社	1943年	152	佐中社先生米寿記念文集		"	1991年

(B) 墨跡等

整理番号	氏名	資料名	備考	整理番号	氏名	資料名	備考
153	大谷正信	俳句短冊*	「花散るや/何時から開けぬ/能舞台 繞石」	158	鳴沢寡愆	俳句短冊*	「梅園を/訪はず仕舞の/梅をいまに 花軒」
154	北島霞江	短歌短冊*	「おもい来し/吾の松原/あと無くて/かきろい立てり/工場のけふり 霞江」	159	"	俳句短冊*	「みやじまも/裏町が好き/石路の花 花軒」
155	雑賀忠義	水彩画*	牡丹の絵	160	中原与茂九郎	教官日誌	昭和20年
156	"	揮毫色紙	「安らかに眠って下さい/過ちは/繰返させぬから 南山」	161	藤田五郎	年賀状*	平成7年
157	鳴沢寡愆	俳句短冊*	「大輪の/冬ばらは陽を/大切に 花軒」	162	谷口鉄雄	年賀状*	平成7年
				163	"	色紙「美」*	
				164	登張正実	年賀状*	昭和55年
				165	羽白幸雄	年賀状*	昭和52年

(四) 広高同窓会の軌跡

(A) 関係資料

整理番号	資料名	備考
166	創立50年記念「広高の森」建設等寄付金募集	1971年2月発行
167	創立50年記念募金の檄	1971年10月 募金推進委員宛の檄文、記念誌資料提供依頼文、19文乙寄附メモ、振込用紙
168	旧制広島高等学校創立50年記念文化講演会ご招待券	1973年発行 旧制広島高等学校同窓会
169	広高寮歌レコード集について(封書)	1975年4月発行 関西広高会から同窓会各位宛
170	広島高等学校創立60年記念大会 プログラム	1983年発行
171	創立70年記念文化講演会の整理券・パンフレット	1993年発行
172	広島寮歌祭パンフレット*	
173	「広高創立60年記念 朝日新聞広告特集 銀燭ゆらく」	1983年10月7日発行 文書館設立準備室所蔵

(B) 出版物

整理番号	資料名	備考	整理番号	資料名	備考
174	同窓会名簿	各年度	180	『落暉燃ゆ』	1993年刊 創立70年記念誌
175	『広高の森句碑・歌碑建設記念誌』	1973年刊	181	『広高グラフィティ』	1994年刊 創立70年記念アルバム
			182	『広高とヒロシマ』	1995年刊
176	『広高薫風寮寮歌集』	関西広高会有志編 1975年10月刊	183	『ヒロシマと広高』	1997年刊
177	『創立50年記念誌』	1973年刊 創立50年記念誌	184	『薫風寮史』(復刻版)	1997年刊
178	『青春の譜』	1974年刊 創立50年記念アルバム	185	『生徒動員日誌』	1998年刊
179	『青春回想録』	1983年刊 創立60年記念誌	186	『広高と原爆』	2000年刊

各資料に付した記号は以下のとおり。*印は広島高等学校同窓会所蔵資料、◇印は広島市立中央図書館広島文学資料室所蔵、特に記載のないものは広島市立中央図書館所蔵「旧制広島高等学校資料」であることを示す。

(一) パネル年表関連資料

(A) 広高設置

整理番号	資料名	備考
58	広島高等学校設置要望の理由(複製)	1919年
59	広島高等学校設置運動史	1933年
60	熊平源蔵肖像写真	『クマヒラの百年』より
61	望月圭介肉筆色紙*	「去華就実」
62	開校祝賀日程・式次第・式場図	昭和3年1月12日～15日
63	講堂写真	彩色写真 広島大学附属中・高等学校所蔵

(B) 広高事件

整理番号	資料名	備考
64	広高同窓会東京支部の声明書*	昭和9年5月20日
65	広島高校紛糾事件調査略述*	昭和9年5月27日
66	広高同窓会東京・京都両支部による声明書*	昭和9年5月28日
67	広高同窓会の声明書(中原与茂九郎教授宛)*	昭和9年8月

(C) 運動部の活躍

整理番号	資料名	備考
68	大杓子(宮島杓子)	大小2種
69	野球部インターハイ優勝時のウイニング・ボール	昭和17年 明治神宮外苑 細川藤右衛門先生直筆
70	蹴球部インターハイ優勝カップ	昭和23年 取り切り戦にて全国優勝
71	陣羽織	薫風寮
72	のぼり、校章旗	
73	各種手拭	創立50年記念、卓球部、レガッタ、大運動会等

(D) 学徒出陣

整理番号	資料名	備考
74	国旗寄せ書	「贈 能登孝雄君」
75	出陣の辞(複写)*	出陣学徒代表 沢田宏重
76	激励の辞(複写)*	在校生総代 岡田茂
77	千人針*	第1回学徒出陣の際にクラスより贈られたもの
78	出陣学徒壮行会写真	昭和8年11月15日 於校庭
79	森義孝先生書色紙	「戦に勝つものは戦いて後戦う」
80	谷口鉄雄先生書色紙	「国益に雲湧きいゆくこの朝け、吾が学び子は出て立ち征くも」
81	『薫風』第8号	学徒出陣号 昭和9年 文書館設立準備室所蔵

(二) 広高生の活動

整理番号	資料名	備考	整理番号	資料名	備考
82	各部メダル・バッグル	馬術部、庭球部、山岳部等	93	各年次卒業アルバム	昭和2,4,6,7,9,18,19,20年等
83	道場開次第	1928年	94	第拾六回薫風寮記念祭「五寮雑し」	1933年 400字詰原稿用紙「阿保踊」「ヤトナイ」他
84	「親愛なる広高六百の校友諸君！」	1932年 文化系同好会による 予算要求への支援要請ピラ	95	寮歌集(1937)	1937年 広島高等学校薫風寮図書寮報部発行
85	「Ⅱ」に反対するピラ	1932年 運動部委員有志等	96	寮歌集(2602)	1942年 広島高等学校薫風寮図書係発行
86	各部発行の雑誌	薫風、蝸牛、波紋、十八会等	97	開校十周年記念祝歌	1938年 広島高等学校
87	卓球部部誌(広高同窓会新規受入資料)*	球朋会誌(No.1)、卓球部部報(創刊号～第4号) 中村慶爾氏(11文甲)寄贈	98	第17回記念祭歌	広島高等学校
88	広島高等学校薫風寮規則・規約	1927年 広島高等学校薫風寮	99	逍遥歌と第17回記念祭寮歌「静思」	
89	『芸備日々新聞』記事切抜	1932年11月2日「寄宿舎巡礼」	100	広島高等学校応援歌	凱旋歌、応援歌3種の4曲
90	「広高寮歌」楽譜	1949年10月15日 広高最後の記念祭で弦楽合唱	101	祝賀大音楽祭歌詞	「よろこび」「秋の野辺」他22曲
91	広高学帽(複製)*		102	広島高等学校記念祭歌	文3甲2石光葆作歌永井建子作曲
92	青丹会の羽織*	広高同窓会奈良支部会制作	103	「かやの木山」歌詞表	
			104	歌詞表	5種類の歌詞が記入

(三) 広高教官著作物等

(A) 著書・追想録

整理番号	氏名	書名	発行所	発行年	整理番号	氏名	書名	発行所	発行年
105	大谷正信	偉人論	大日本図書	1903年	130	藤田五郎	硝子の驚異(シェツフェル著)	〃	1943年
106	〃	開いた処*	敬文館	1914年	131	谷口鉄雄	観世音寺(美術文化シリーズ)	中公漢術出版	1965年
107	〃	北の国より	敬文館	1922年	132	〃	白杵石佛(〃)	〃	1966年
108	〃	小泉八雲全集(第1巻)	第一書房	1925年	133	〃	石佛紀行	朝日新聞社	1967年
109	〃	己がこと人のこと	春陽堂	1933年	134	〃	白杵石佛	白杵石佛保存会	1967年
110	御奥員三	イギリス文学一案内と文献一*	研究社	1968年	135	〃	東洋美術論考	中公美術出版	1973年
111	北島蕨江	万葉集大和地誌	関西急行電鉄	1941年					

<特別展示> I 広高出身の文化功労者たち

(A) 丹下健三 (8理甲) 1979年選出

整理番号	資料名	備考	整理番号	資料名	備考
1	肖像写真	『KENZO TANGE』所収	5	『KENZO TANGE』*	1984年 鹿島出版会刊 丹下健三作品集
2	広高創立50年記念文化講演会講演記録*	「これからの人間環境について」	6	『一本の鉛筆から』	1985年 日本経済新聞社刊
3	丹下健三スケッチ絵葉書	丹下健三事務所提供	7	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館パンフレット	大小2種 同館は2002年8月1日開館 丹下健三設計 丹下健三事務所提供
4	『広島平和記念館と丹下健三』*	山崎荒助著 1980年 三友社出版刊			

(B) 近藤芳美 (9理甲) 1996年選出

整理番号	書名	備考	整理番号	書名	備考
8	『自選歌集 楽章』*	1979年 至芸出版社刊	16	『青春の碑』第1部・第2部*	1964年 垂水書房刊
9	『処女歌集 埃吹く街』*	1948年 草木社刊	17	『黒豹』*	1968年 短歌研究社刊
10	『静かなる意志』*	1949年 白玉書房刊	18	『無名者の歌』*	1974年 新塔社刊
11	『早春歌』*	1950年 十字屋書店刊	19	『定本近藤芳美歌集』*	1979年 短歌新聞社刊 初版は1978年
12	『歴史』*	1951年 白玉書房刊	20	『祈念に』*	1985年 不識書院刊
13	『新しき短歌の規定』*	1993年 講談社刊 初版は1952年	21	『歌い来しかた』*	1986年 岩波書店刊
14	『現代短歌』*	1982年 筑摩書房刊 初版は1953年	22	『営為』*	1990年 六法出版者刊
15	『冬の銀河』*	1954年 白玉書房刊	23	『希求』*	1994年 砂子屋書房刊
整理番号	書名	備考			
24	『青春の碑』写真	広島大学附属中・高等学校構内に広高創立40年を記念して昭和38年設置 近藤芳美 設計			
25	『太田川』*	1972年8月『朝日新聞』「流域紀行」より全10回の連載記事切り抜き			
26	『ヒロシマ 詠み継ごう』*	2003年9月10日付『中国新聞』切り抜き			

(C) 阿川弘之 (15文乙) 1993年選出

整理番号	書名	備考	整理番号	書名	備考
27	『春の城』*	1952年 新潮社刊	34	『米内光政』上・下巻*	1978年 新潮社刊
28	『魔の遺産』*	1954年 新潮社刊	35	『ある海軍予備学生の自画像』*	1978年 現代出版会刊
29	『雲の墓標』*	1956年 新潮社刊	36	『井上成美』*	1986年 新潮社刊
30	『きかんしゃやえもん』*	1959年 岩波書店刊	37	『志賀直哉』上・下巻*	1994年 岩波書店刊
31	『山本五十六』*	1965年 新潮社刊	38	『蛙の子は蛙の子』*	1997年 筑摩書房刊
32	『暗い波濤』上・下巻*	1974年 新潮社刊	39	『食味風々録』*	2001年 新潮社刊
33	『軍艦長門の生涯』上・下巻*	1975年 新潮社刊	40	『春風落月』*	2002年 講談社刊
整理番号	資料名	備考			
41	『季節風』	広高文芸部刊『皆実』26号(1939年)掲載 25・26号に委員として列記 文書館設立準備室所蔵			
42	『書齋にて』	1953年 書齋での肖像 田沼武能(文士 田沼武能写真集)(新潮社、1979)所収			
43	『色紙』	『銀燭ゆらく花の宴吹雪の春の宵』 創立50年記念講演会の際に揮毫			
44	『大いなる未完成品』*	創立70年記念誌『落穂燃ゆ』の原稿 原稿用紙3枚			
45	『校正刷』*	上記原稿の校正刷 訂正は本人によるもの B4用紙1枚			

<特別展示> II 広高の遺産と広島大学

整理番号	資料名	備考
46	学籍簿	大正13～昭和2年度の広高在校生の記録 生徒の成績・出席状況・体格・人物短評などを担任教官が記載 展示品は大正13年度の簿冊 総合科学部所蔵
47	生徒記録	昭和2年～25年の卒業生の記録 記載内容は「学籍簿」と同様 年度により用紙および記載事項に変化があり写真を貼付した簿冊もある 総合科学部所蔵
48	成績表	全生徒の成績表と成績表を収めていた引き出し 成績表には各学年について学科目ごとの成績と順位とが記載された 総合科学部所蔵
49	旧制広島高等学校の建物	建物配置図に写真を配置したもの 文書館設立準備室作成
50	広島高等学校公印	総合科学部所蔵
51	教官履歴関係綴	広高教官の履歴書を含む各種人事記録 総合科学部所蔵
52	中島光風先生自筆履歴書	総合科学部所蔵
53	復興祭プログラム・絵葉書	昭和21年 文書館設立準備室所蔵
54	教養部教職員集合写真	昭和39年4月 教養部長は羽白幸雄(4文乙)
55	総合科学部教職員集合写真	昭和49年7月 総合科学部創設時の写真 第1回入学式を記念して撮影
56	総合科学部全景写真	総合科学部所蔵
57	『広島大学の50年』	平成11年 広島大学刊 広島大学50年史の写真集 文書館設立準備室所蔵

は し が き

今、私の机上には「広高資料目録」(昭和58年版)、同(昭和63年版)、「70年の軌跡展」(平成5年)、および「青春回顧展」(平成10年)の資料展目録4冊子があります。

願れば、昭和47年に「広高創立50年記念誌」の編集に当たって以来、広高資料の収集を始めましたが、原爆による被害は如何ともし難く、当初はわずかに70点に過ぎませんでした。(「会報」No.3記事による)

その後、同窓生各位の並々ならぬご理解とご協力により、爾来、次々と貴重な物品が寄せられ、現在は約2,000点に達しております。

しかし、折角のこれら資料も、5冊の記念誌の編集と4回の資料展以外には、活用の機会に恵まれないまま、広島市立中央図書館の書庫に眠っているのが現状であります。

このたび、幸いにも、来年4月開設を目標に活動されている広島大学文書館設立準備室が、その準備の一環として今回の資料展へのご協力申し出があり、同大学総合科学部ご所蔵の広高に関する資料も多数展示されることになりました。更に、今後、これら未整理の広高資料の活用対策を考えていただけるならば、これに勝る喜びはありません。

今回の展示は、今までと切り口を変えた趣向もありますので、是非、ご高覧のうえご批判いただき、これからも引続きご支援賜わるようお願い申し上げます。

以上

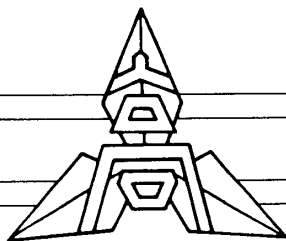
平成15年10月

創立80年記念資料展委員長 松 浦 道 一



本通り風景
Gono

カット 四国五郎 画伯



旧制 広島高等学校
創立 80 年 記念
「広高26年の歴史」展
目 録



と き 平成15(2003)年10月1日(水)～19日(日)
(午前9時～午後7時 6日、13日、14日は休館)
(但し土、日、祝は午後5時まで)

ところ 広島市立中央図書館 展示ホール

広島高等学校同窓会
広島市立中央図書館
広島大学文書館設立準備室
広島大学総合科学部